

## JA三重南紀 平成29年9月末の現況

### ＝地域貢献情報＝

#### ●全般的事項

当組合は、熊野市、御浜町、紀宝町を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

当組合の資金は、その大半が組合員の皆さまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を源泉としております。当組合では資金を必要とする組合員の皆さま方や、地方公共団体などにもご利用いただいております。

当組合は、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて、事業活動を展開しています。

また、JAの総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助けあいを通じた社会貢献に努めています。

組合員数	8,934人	出資金	769,633千円
------	--------	-----	-----------

#### ●地域からの資金調達の状況

(1) 貯金・定期積金残高 48,935百万円

#### (2) 貯金商品

種類	期間	預入額	商品の概要等
当座貯金	出し入れ自由	1円以上	JAと当座貯金勘定取引契約を結んだ取引先が、JAを支払い場所とする小切手・約束手形を振り出し、又は、為替手形を引受け、その支払事務をJAに委任する為に開設される貯金勘定である。
普通貯金	出し入れ自由	1円以上	貯金通帳及び所定の入金申込書、払戻請求書により受入・払戻する要求払い貯金である。

総合口座	出し入れ自由	1円以上	普通貯金・定期貯金及び定期性担保とする当座貸越の機能を合わせた口座である。 普通貯金の残高を超える支払時に、設定された担保に応じた当座貸越により、不足分が普通貯金へ自動的に融資され、普通貯金の支払いを成立させる。又、貸越中に普通貯金へ入金された金額は、自動的に返済資金となる。
定期貯金 スーパー定期 大口定期 期日指定定期 変動金利定期 据置定期	1ヶ月～5年 1ヶ月～5年 1ヶ月～3年 1年～3年 6ヶ月～5年	1,000円以上 1,000万円以上 1,000円～ 300万円未満 1,000円以上 1,000円～ 1,000万円未満	あらかじめ満期日（支払期日）を定めて預入れ、貯金者は原則として満期日まで払戻の請求ができない期限付貯金である。 尚、定期貯金は預入れの都度1口ごとに独立して貯金債権が成立する。
積立式定期預金		1円以上	預入期間、及び取扱対象者に応じ、期日指定定期、スーパー定期及び大口定期を組み合わせ、一冊の通帳にまとめて取扱いができる商品である。 尚、貯金契約は預入明細単位ではなく、口座単位に包括的に成立する。
財形貯金 （勤労者財産形成貯蓄）	5年以上	1円以上	勤労者が財形法に基づく契約によって、預入される貯金。貯蓄制度における勤労者財産形成貯蓄契約は勤労者（貯金者）と金融機関との間に行われる。
定期積金	6ヶ月～60ヶ月	1,000円以上	一定金額を毎月一定日の日に、一定期間掛け込む事を条件に一定の契約金額を貯金者に支払う契約である。

●地域への資金供給の状況

(1) 貸出金残高

(単位：百万円)

正組合員		2, 1 2 6
准組合員		2, 8 5 1
員 外	地方公共団体	1, 7 8 4
	地方公社等	—
	金融機関	6 7 2
	その他員外	1 1 0
	計	2, 5 6 7
合 計		7, 5 4 5

(2) 制度融資取扱い状況

(単位：百万円)

資金名	残高	制度の概要等
中核農業者育成資金個人	2 0	中核農業者支援
近代化資金 個人	2 3	農業・運転・施設・農機具取得
近代化資金 県単特定	4	緊急復旧資金
農業基盤整備	3 6	農業施設及び耕地整理等
スーパーL	1 5 4	農地取得（認定農家）
スーパーS	2 4 0	運転資金（認定農家）
畜産経営維持緊急支援資金	2 3 0	畜産経営維持資金
その他	3 5	農業別・政府対策資金関係

(3) 融資商品

資金名	対象者	資金用途	商品の概要等
農業近代化資金	農業者	農業設備等	農業者の設備、農機取得
農業経営資金	農業者	農業設備、農機、運転	農業経営に必要な資金
営農ローン（当貸）	農業者	運転資金	農業運転資金
フリーローン	組合員	負債整理以外	生活に必要なとする資金
マイカーローン	組合員	自動車購入	マイカー購入・車検等
住宅ローン	組合員	マイホーム建設等	変動金利、固定金利選択型
教育ローン	組合員	教育資金	高校～大学等学資資金

## ●地域密着型金融への取組み

### (1) 農業者等の経営支援に関する取組基本方針

中小企業者等の経営支援に関しては、「金融円滑化にかかる基本方針」に基づき、新規貸付相談や貸付条件変更等の申し込みに対して、真摯かつ適切な対応に努めております。

また金融機関としてコンサルティング機能を十分に発揮できるよう、研修・セミナーの受講により担当者の能力向上に努めています。

### (2) 農業者等の経営支援に関する態勢整備

「金融円滑化にかかる基本方針」に基づき、管理責任者・担当者の設置および統括部署を明確化し、金融円滑化管理委員会において協議を行なっています。

また、必要に応じて弁護士、税理士等外部専門家と連携し、経営支援を行なえるような態勢整備をしています。

### (3) 農山漁村等地域活性化のための融資を始めとする支援

三重県農業の基盤となる担い手育成確保を図るため、部門横断的な担い手対応部署のメンバーとして、担い手金融リーダーを配置し、営農事業、経済事業等と連携を図るとともに、担い手の資金調達対策等に対応しています。

### (4) ライフサイクルに応じた担い手支援

担い手の経営のライフサイクル（就農（創業期）・発展期・成熟期・再生期・承継期）に応じた支援に取り組んでいます。

具体的には、農業経営資金等の各種農業資金、制度資金を提供しています。

### (5) 経営の将来性を見極める融資手法を始め担い手に適した資金供給手法の取組み

農業負債整理関係資金を提供するなど経営不振農家に対する経営支援等に取り組んでいます。なお、担い手への資金提供に際しては、不動産担保や個人保証に過度に依存することなく、融資先の経営の将来性を見極める融資を行なうため、三重県農業信用基金協会等と連携し担い手支援に努めています。

### (6) 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域への貢献

三重県下JAバンクでは、「JAバンク食農教育応援事業」に取り組んでいます。子供たちに食と農業の関わり等への理解を深めてもらうことを目的としているもので、県内小学校高学年への教材本の寄贈や、農業体験学習の受入れなどに取り組んでいます。

## ●文化的・社会的貢献に関する事項

### (1) 文化的・社会的貢献に関する事項

#### 【地方公共団体への協力】

地域社会のよりよい環境づくりと発展のため、市町の行う地域の再開発や道路・学校・公園など公共施設の整備事業に対して、融資等を通じて積極的に協力しております。

各市町の収納代理金融機関として、税金等の公金事務の窓口を担当し、多くの皆様にご利用頂いております。

#### 【地域への奉仕活動】

4月14日（金）愛知県日進市の児童福祉施設「中日青葉学園」をJAと全農みえの関係者4人が訪問し、JA管内特産の「カラマンダリン」5キロ入り10ケース、「セミノール」10キロ入り10ケース、「サンフルーツ」10キロ入り20ケースを贈呈しました。学園長から「今年も届けてくださると聞いて、子供達も楽しみにしていました。さっそく、おやつの時間に皆でいただきます。」と感謝の言葉を頂きました。今回で14回目の訪問になります。

4月14日（金）生産者と消費者が直にふれあう場として、農産物直売所「ほほえみかん」入口付近のイベントブースに「ほほえみかん横丁」を開店し、地産部会会員による試食会や即売会を行いました。月2回程度の開催で様々なイベントを計画し、生産者と消費者が会話をしながら買い物を楽しめる店舗づくりを目指しています。

4月28日（金）熊野市五郷町の活性化に取り組んでいる「ふる郷創生実行委員会」が行った田植えに、五郷小学校の生徒、先生、婦人会の方々約50名が参加。JA三重南紀営農指導員も参加し、苗の植え方を説明しました。

6月1日（木）には、営農指導員がイネとヒエの見分け方を説明し、子供たちが除草作業を行いました。

9月5日（火）には、五郷小中学校19名の生徒が参加し、JA営農指導員から鎌の使い方等を学び、たわわに実ったコシヒカリの稲刈りを行いました。

5月21日（日）日本の棚田百選にも選ばれている熊野市紀和町の丸山千枚田で各方面から訪れたオーナー83組（443人）が参加し「平成29年度丸山千枚田田植の集い」が開催されました。JAからは筒井理事長と山本営農振興部長が参加し、約20㎡の水田で田植えを行いました。

9月25日（月）から今年も第2集荷場、第3集荷場でJA職員による荷卸し作業のサポートを行いました。温州みかんの採果で一番忙しい時期に合わせて

毎年行っています。生産者の方からは「いつも助かる、ありがとう」と大変喜ばれています。

9月26日(火)熊野市老人クラブ連合会と熊野市社会福祉協議会主催の「熊野市老人福祉大会」が開催されました。式典後の第2部芸能大会では、JAとJA共済連が協賛した、熊野警察署交通課長らによる交通安全講話などを披露して頂きました。また落語で楽しく交通安全に対する意識を高めて頂こうと、林家久蔵師匠による「交通安全落語」も披露して頂きました。

#### 【食農教育活動への取組み】

子供の農業や自然環境、金融経済に対する理解を促進し、食への関心と大切さ、いのちと健康の尊さなどを学んで頂けるよう、JA三重南紀管内の小中学校を対象とした食育支援活動を行っています。

JA管内の希望する小学校18校と子育て支援センターに肥料・資材・サツマイモの苗合計2,650本配布しました。

5月29日(月)に井戸小学校1～3年生、30日(火)に御浜小学校1～3年生、31日(水)に金山小学校1～3年生、新鹿小学校全児童、6月6日(火)に入鹿小学校全児童、9日(金)に鶴殿小学校1～2年生、27日(火)に五郷小学校全児童を対象に経済課職員、JA営農指導員らによる「さつまいも苗の植え方」出前授業を行い、大変喜ばれました。

7月22日(土)紀宝町「まなびの郷」で、家の光専任講師の秦 佐知子先生を迎え、平成29年度特別企画「地元特産品を使った親子料理教室」を開催しました。4家族9名に参加していただき、地元産米粉を使用した皮から作るカリカリ野菜ギョウザ、みかん農家さんからいただいたセミノールとマイヤーレモンの果汁がたっぷり入ったゼリーとグミを作りました。

#### 【年金相談会の開催】

3ヶ月に一度社会保険労務士を招き、年金相談会を無料で行っています。今年度は6月8日(木)に熊野支店で開催し2組の相談がありました。9月14日(木)に御浜支店で開催を予定していましたが、相談者が無く中止になりました。

12月14日(木)に、紀宝支店、平成30年2月11日(日)に本店で開催を予定しています。

#### 【各種イベントへの参加】

三重南紀のイメージガールは、県内各市町の消費イベントに参加し、三重南紀みかんのPR活動をしています。

4月5日（水）JA三重南紀本店で行われた、新型の金融移動店舗「いぶきⅡ号」の披露式典に参加しました。

4月8日（土）には、マックスバリュ名古屋西店、9日（日）にはマックスバリュ津北店で消費宣伝を行いました。

9月16日（土）に三重県 渡邊副知事、JA三重南紀筒井理事長とJA関係者らが、名古屋中央卸売市場で極早生温州みかん「みえの一番星」のトップセールスを行いました。イメージガールは、仲介業者や市場関係者らに試食を提供し、食味の良さや品質の良さをPRしました。

9月27日（水）に中日新聞社名古屋本店に表敬訪問し、極早生販売前のPRを行いました。

10月には、ハーベス桔梗が丘店での三重南紀みかん祭り、11月には、御浜町みかん祭りでみかんPR、イオンモール鈴鹿のリニューアルオープンに伴う早生みかんの消費宣伝会を予定しています。

## （2）利用者ネットワーク化への取り組み

年金友の会の行事として年2回のグラウンドゴルフ大会と年1回の年金友の会の総会を開催しています。今年度のグラウンドゴルフ大会は11月と3月に予定しています。平成29年度第19回年金友の会総会は伊勢志摩で開催予定です。

### 【第8期美人倶楽部】

6月22日（木）JA三重南紀本店の団地センターで、平成29年度「JAときめき女性倶楽部」の開講式を行いました。受講生は18名、1年間で料理、菓子作り、手芸教室など7回の講義を予定しています。開講式の後、新宮市・Mio Yoga インストラクター山田美於さんを講師に迎え第1回講義「楽しく健康に！」をテーマにしたヨガ教室を開催しました。

7月13日（木）JA三重南紀本店営農相談室で第2回講義「やさしいハンドメイド教室」を開催しました。対象者は女性大学受講生と女性部員で、午前の部11名、午後の部18名が参加しエコクラフトでペン立てを作りました。

## （3）情報提供活動

### 【「すまいるだより」「営農ニュース」などの情報誌の定期発行】

当組合では、平成9年8月以来、当組合の活動にのみならず、地元の行事、活動を紹介した「すまいるだより」を発行しており、身近な広報誌として地域の皆様にご好評を頂いています。

また、農家向けに毎月の農作業のポイントをお知らせする「営農ニュース」も発行しており、営農指導と併せて地域農業の資質向上に役立てています。

【ホームページの開設】

当組合では、平成9年8月以来、ホームページを開設し、当組合の現況、最新ニュース、柑橘情報等を掲載しています。

平成29年3月にリニューアルし、より見やすいホームページになっています。

ホームページのURLは、<http://www.ja-mienanki.jp> です。

●店舗一覧

店舗名	住 所	電話番号	CD/ATM 設置台数
本 店	南牟婁郡御浜町阿田和 4694-4	05979-2-1388	
営農振興部	南牟婁郡御浜町下市木 2281-2	05979-2-4545	
御浜経済センター	南牟婁郡御浜町阿田和 4135	05979-3-1616	
熊野支店	熊野市有馬町 1368-1	0597-89-6606	1 台
熊野店	熊野市有馬町 1368-1	0597-89-2095	
ほほえみかん	熊野市有馬町 1368-1	0597-85-2169	
飛鳥店	熊野市飛鳥町小阪 511-1	0597-84-0002	
ほたるの郷	熊野市五郷町寺谷 850-1	0597-83-0003	1 台
御浜支店	南牟婁郡御浜町阿田和 4694-4	05979-2-2006	1 台
市木店	南牟婁郡御浜町下市木 2551	05979-2-1013	1 台
神木店	南牟婁郡御浜町神木 1950-8	05979-2-0003	
紀宝支店	南牟婁郡紀宝町成川 40	0735-22-8471	1 台
相野谷店	南無理群紀宝町大里 1568	0735-34-0696	
市木給油所	南牟婁郡御浜町下市木 2549-1	05979-2-1585	
相野谷給油所	南牟婁郡紀宝町大里 1432-1	0735-34-0410	
御浜農機センター	南牟婁郡御浜町下市木 2551	05979-2-4393	
葬祭センター	南牟婁郡御浜町志原 1194	05979-2-0007	
統一選果場	南牟婁郡御浜町下市木 2133	05979-2-1014	

(店舗外 CD・ATM 設置台数 4 台)



## ＝財務状況に関する項目＝

### ●金融再生法開示債権（単体）

（単位：百万円）

債権区分	平成 29 年 9 月末	平成 29 年 3 月末	増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2 2	2 5	▲ 3
危険債権	4 4 5	5 5 6	▲ 1 1 1
要管理債権	—	—	—
正常債権	7, 0 8 8	7, 2 0 5	▲ 1 1 7
合 計	7, 5 5 6	7, 7 8 7	▲ 2 3 1

注) 平成 29 年 9 月末の計数は、次の方法により算出しています。

1. 各債権区分額は、平成 29 年 3 月末時点の債権区分を基準として、平成 29 年 9 月末時点の残高に修正しています。
2. 平成 29 年 3 月末から 9 月末までの間に、債務者区分の変更が必要と認識した先については、9 月末時点の債務者の状況に基づき債権区分を変更しています。

### ●単体自己資本比率

平成 29 年 9 月末（参考）	平成 29 年 3 月末
1 0 . 5 4 %	1 0 . 7 9 %

注) 平成 2 9 年 9 月末の自己資本比率（参考）は、次の方法により算出しています。

1. 平成 2 9 年 3 月末のオペレーショナル・リスク相当額に基づき算出しています。
2. 平成 2 9 年 9 月末の自己資本額および信用リスク・アセット額に基づき算出しています。ただし、一部の項目については平成 2 9 年 3 月末の額を使用しています。

### ●主要勘定の状況

（単位：百万円）

	平成 29 年 9 月末	平成 29 年 3 月末	平成 28 年 9 月末
貯金	4 8, 9 3 5	4 7, 8 2 3	4 6, 9 8 5
貸出金	7, 5 4 5	7, 7 7 8	7, 5 9 2
預金	3 8, 0 7 1	3 7, 6 5 8	3 7, 1 3 3
有価証券	2, 1 3 0	1, 5 3 0	1, 4 1 8
金銭の信託	—	—	—

●有価証券等時価情報

【有価証券】

[満期保有目的の債券]

(単位：千円)

	種 類	29年9月末			29年3月末		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	地 方 債	199,914	213,080	13,166	199,913	214,260	14,346
合 計		199,914	213,080	13,166	199,913	214,260	14,346

[その他有価証券]

(単位：千円)

	種 類	29年9月末			29年3月末		
		貸借対照表計上額	取 得 原 価	差 額	貸借対照表計上額	取 得 原 価	差 額
貸借対照表計上額が取得原価又は償却原価を超えるもの	地方債	335,410	300,000	35,410	332,030	300,000	32,030
	その他の証券	717,690	700,000	17,690	327,060	300,000	27,060
	小 計	1,053,100	1,000,000	53,100	659,090	600,000	59,090
貸借対照表計上額が取得原価又は償却原価を超えないもの	その他の証券	877,810	900,000	△22,190	671,350	700,000	△28,650
	小 計	877,810	900,000	△22,190	671,350	700,000	△28,650
合 計		1,930,910	1,900,000	30,910	1,330,440	1,300,000	30,440